

薩摩街道出水筋街道歩行(伊集院駅 ~ 西田橋編) その1

No1地点 JR伊集院駅前



参加者29名のうち3名は、かわいい幼稚園生。今回も、川畑さんに講師をお願いしました。(午前10時10分出発 快晴)



徳重橋を渡ったら左折。この辺りには、かつて、旅館(はたご)や魚屋、呉服屋、下駄屋などがあったそうです。他国から来た者の泊まる処は「角の油屋」で、藩内の者が泊まる処は「中の油屋」と言われていたそうです。ちなみに、このビルの辺りに、「角の油屋」があったとのこと。



No2地点 永平橋記念碑



下谷口川にかかる永平橋。橋のたもとにある石碑に刻まれた「永平橋」の文字は、西郷隆盛の書とされています。



No3地点 吉利街道入口



JR鹿児島本線を横切り、しばらくすると右手に街道入口を示す看板が見えてきます。小松帯刀が眠る園林寺跡へ通じています。

No8地点 チェスト館



その2へ

出発地点からここまで約7.5キロメートル

出発してから、2時間15分。ようやく中間地点に到着です。

ここから県道に出できます。あとは、チェスト館まで道なりに歩きます。

ここから再度、山手に入ります。ここでも、人ひとりがようやく通れる森の中を歩きます。

人ひとりがようやく通れる道です。

ここから左に入ります。



No4地点 遠矢の跡



この辺りは、かつて、藩主島津家久が家臣の玉川伊予に命じて遠矢を試みさせたところです。

玉川伊予は二本の矢を同じ場所から放ち、二本とも同じ場所に落ちたので、そこに杉2本を、玉川伊予が立った場所に杉1本を植えさせたとされていますが、今は残っていません。



No7地点 県道合流地点



出発地点からここまで約5.3キロメートル

ここで県道に合流します。案内板や「妙円寺詣り街道」と刻まれた石碑が立っています。



ここから右側へ入ります。



No5地点 清藤橋(きよふじはし)



当時を偲ばせる、森の中の道を歩きます。



この辺りは、最近竹やぶが取り払われ、通れるようになったそうです。



No6地点 五本松



ここは、旧茶屋跡。この近くに、藩の米倉があったようです。タイミングが合えば、新幹線が通る音が聞こえます。



ここは、右側へ進みます。

